

「史跡中里貝塚保存活用計画」(案) のパブリックコメント実施結果

1. パブリックコメントの概要

- 意見募集期間：令和元年12月10日～令和2年1月15日
- 意見提出者数：2名
(内訳) 持参：1名、郵送：0名、FAX：0名、ホームページ：1名
- 意見総数：3件 ※類似の意見はまとめさせていただきました。
- 周知方法：北区ニュース、ホームページ
- 閲覧場所：飛鳥山博物館、区政資料室、地域振興室、区立図書館、ホームページ

2. 提出された意見の概要とそれに対する区の考え方

(1) 史跡全体の完全禁煙化について

No.	意見の概要	区の考え方
1	中里貝塚の保存と活用には、史跡全体を禁煙化することが不可欠であるが、活用計画(案)にはその観点が出ていない。屋外を含め、史跡全体を禁煙化すべきであるという点を計画に盛り込むべきである。	今後、中里貝塚は学校教育や生涯学習の拠点等とすべきと考えています。令和2年度には史跡全体の整備計画を策定する予定ですので、施設の禁煙化については改正健康増進法並びに東京都受動喫煙防止条例の趣旨を十分に踏まえて検討いたします。

(2) 今後の調査研究方針および展示方法について

No.	意見の概要	区の考え方
2	これまでの中里貝塚の研究では、地質学、特に古生物の環境論が出ていないと考える。古環境論、海流と貝類の分布、微化石(珪藻・有孔虫)の研究は行われていない。	平成8年(1996)の調査は、珪藻分析も含め、自然科学分析を多用し実施したもので、成果の一部は『中里貝塚総括報告書』にて公表しております。しかし、広範囲にわたる分析は未だなされていないので、今後も学際的な視点で、調査・研究を進めていきたいと考えます。
3	剥ぎ取り標本は4メートルの貝層を下から見上げたのでは貝の種類まで判断できない	ご意見を十分に踏まえて、中里貝塚の本質的価値を体感できるような展示方法を、今後も検討していきます。